

旭化成株式会社

群馬県前橋市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

ユーザーニーズの追及・独自技術の探求を基本方針として、発泡樹脂成形の可能性を追求している

- 女性が働きやすい職場環境を社長主導で築きあげること
で低離職率を実現
- 「一体成型技術」や「表面被膜成形技術」等の同社の
高い技術力により難しい提案に対しても対応可能
- 発注と検査の自動化による業務効率化により経費の削
減と余剰人員の有効活用を実現

企業基本情報

所在地	群馬県前橋市西大室町 1257-3
電話/FAX	027-268-2321/027-268-0685
URL	http://www.asahikasei-kk.co.jp/
代表者	代表取締役社長 梶 徹也
設立	1965年
資本金	2,000万円
従業員数	68人



会社概要

発泡スチロール製品メーカーとして緩衝材、産業トレイ、機能部品など様々な発泡スチロール成形を行う。設計・試作から成形・カット加工・組立まで一貫生産を行う事で顧客ニーズに対応している。同社の強みとして発泡スチロールと樹脂・金属との一体成型が可能で、表面被膜成形による意匠性・耐久性の強化を行える事が挙げられ、発泡スチロールを使った高機能部品として優位性を発揮している。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 女性が働きやすい職場環境作りによる雇用確保

採用制度では社内での孤立化を防止するため同性の複数人採用を原則としており、社長自ら積極的にコミュニケーションを図る事で低離職率を実現。

女性人材の活用として、出産時退職者等の職場復帰制度を設けるとともに、短時間労働を希望する子育てママさんを多数採用している。

これらの制度を実現する為には多能工化が必要であり、新たな仕事に対しては指導者によるマンツーマンの教育を徹底している。

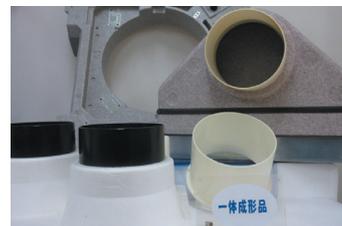


女性が活躍する職場

▶▶▶ 一体成型技術と表面被膜成形技術

樹脂や金属と発泡樹脂を一体成形する「インサート成形」や発泡スチロールの表面を溶かして鏡面樹脂層をつくる「表面被膜成形」の開発に成功し、産業機器や空調関連、住宅関連等様々な製品に技術が活用されている。これらの技術ノウハウは特許にて権利化されており、技術面において同業他社に先行しているため難しい案件を同業他社から依頼されることも多い。

これらの技術力を前面に出した提案活動によって発泡スチロールの新たな用途を見だし事業展開している。



「一体成型技術」を用いた製品例

▶▶▶ 自動化による業務効率化により経費削減

取引先からの注文をEDI（電子的データ交換）により受け付け、注文に合わせた材料等の発注と工場の生産工程作成などを自動で行うシステムを導入し事務効率化を図っている。また機械の稼働状況をモニタリングし、生産計画の進捗などに監視できるなど生産工程の見える化も実現している。

検査工程においてもロボットによる検査装置を開発し2Dと3Dカメラを駆使した画像解析による、効率かつ確かな自動検査を実施している。



検査装置